

2-2 基盤専門教育科目の卒業要件と履修方法

- (1) 理学導入科目（別表1 P10参照）については、「理系のキャリアデザインA」1単位、「サイエンスセミナー」2単位及び「理系のキャリアデザインB」1単位を含む4単位以上を修得すること。
- (2) 理学共通科目には「分野横断」（別表2 P10参照）と「学部共通」（別表3 P10参照）の2つの区分がある。

理学共通科目については、各履修プログラムに定める以下の要件を満たすように別表2、別表3の科目群から18単位以上を修得すること。

※ただし、別表3のI群はサイエンスコミュニケータープログラム履修者用、M群はロニティプログラム履修者用の科目群である。

- 1) スタンダードプログラム
別表3の科目群から2単位以上を修得すること。ただし「I群」を除く。
- 2) フロントティアプログラム
別表3の「I群」を除く科目群から単位を修得すること。
- 3) サイエンスコミュニケータープログラム
 - ①別表2の4つ以上の科目群からそれぞれ2単位以上、合わせて8単位以上を修得すること。
 - ②別表3の「I群」から2単位以上を修得すること。
- (3) 理学専門科目（別表4-1～4-6 P11～13参照）については、40単位以上を修得すること。ただし、選択したコースカリキュラムの理学専門科目から28単位以上を修得すること。履修にあたっては、「3. コースカリキュラムの履修条件」（P9）を参照すること。

なお、サイエンスコミュニケータープログラム履修者は、3年次以降開講の「6. 教職に関する科目」の修得についての第6表に示す科目（P35）並びに「博物館に関する科目」（P37）から合わせて6単位まで修得単位に含めることができる。

2-3 卒業研究の卒業要件

「卒業研究」については、10単位を修得すること。履修にあたっては、「4. 卒業研究の履修条件」（P9）を参照すること。

2-4 自由科目の卒業要件

自由科目については、6単位を修得すること。自由科目とは、次の科目である。

- (1) 基盤共通教育科目のうち、教養科目及び共通科目から卒業要件単位数を超えて修得した科目。ただし、教養科目の「自然と科学」の科目を除く。
- (2) 理学共通科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した科目。
- (3) 理学専門科目のうち、卒業要件単位数を超えて修得した科目。
- (4) 上記以外の本学開講科目。ただし、「6. 教職に関する科目」の修得についての第6表に示す科目（P35）、「介護等体験（含事前指導）」及び「博物館に関する科目」（P37）を除く。

6. 理学部理学科授業科目一覧

別表1

区分	授業科目	単位数	開講期及び週開講時間数									
			1年		2年		3年		4年			
			前	後	前	後	前	後	前	後		
理学導入科目	理系のキャリアデザインA	①	1									
	サイエンスセミナー	②		2								
	理系のキャリアデザインB	①			1							
	理系のキャリアデザインC	1						1				
	小計(4科目)	5										

単位を○で囲んでいる科目は必修科目

別表2

区分	科目群	授業科目	単位数	開講期及び週開講時間数								
				1年		2年		3年		4年		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
理学共通科目 (分野横断)	A群	微分積分Ⅰ	2			2						
		線形代数	2			2						
		線形代数演習	2			2						
		集合と位相Ⅰ	2			2						
	B群	数理統計学	2			2						
		プログラミング	2			2						
		コンピュータアーキテクチャ	2			2						
	C群	力学Ⅰ	2			2						
		力学演習Ⅰ	2			2						
		電磁気学Ⅰ	2			2						
		電磁気学演習Ⅰ	2			2						
	D群	基礎熱力学	2			2						
		基礎生物化学	2			2						
	E群	基礎元素化学	2			2						
		基礎分析化学	2			2						
		分析化学実験	2			4						
	F群	細胞生物学Ⅰ	2			2						
		遺伝学Ⅰ	2			2						
		進化学Ⅰ	2			2						
		生態学Ⅰ	2			2						
	G群	地球史科学Ⅰ	2			2						
		地球物質科学Ⅰ	2			2						
		固体地球科学Ⅰ	2			2						
		物質循環科学Ⅰ	2			2						
	小計(24科目)	48										

別表3

区分	科目群	授業科目	単位数	開講期及び週開講時間数								
				1年		2年		3年		4年		
				前	後	前	後	前	後	前	後	
理学共通科目 (学部共通)	H群	自然科学特選Ⅰ	2			2						
		自然科学特選Ⅱ	2						2			
	I群	◇サイエンスコミュニケーターA	2							4		
		◇サイエンスコミュニケーターB	2							4		
		◇サイエンスコミュニケーターC	2							4		
	J群	放射線取扱入門	1					1				
	K群	インターンシップ	2					2				
		海外特別研修	1					1				
	L群	コミュニケーション英語Ⅰ	2						2			
		コミュニケーション英語Ⅱ	2						2			
	M群	課題研究	2									4
	小計(11科目)	20										

◇で示す科目は適宜開講

V 履修上の注意

1. 学年及び在学期間について

本学部では、4年生まで進級要件を定めておらず、1年生から4年生までは年次が進行するとともに学年が進級する、自動進級方式を採用している。なお、休学した場合も学年は進級する。在学期間については山形大学学部規則（抄）（P39）を参照すること。

2. 履修科目の登録・取消等について

2-1 履修科目の登録について

- (1) 授業科目は、定められた期日までにWEBにより登録を行うこと。ただし、実験・実習・演習科目及び「Ⅷ 教育職員免許状取得のための履修要領」の「6. 『教職に関する科目』の修得について」の第6表に示す科目（P35）は、受講者数や履修プログラムによる履修制限を行うことがあるので注意すること。
- (2) 本学部の授業科目の内容及び授業担当教員からのメッセージ等は、シラバスに記載されているので、十分に活用すること。
- (3) 授業時間割は、前期、後期とも年度の初めに発表する。
- (4) 臨時の授業については、その都度、必要事項を掲示する。
- (5) 「卒業研究」の履修において、山形大学放射性同位元素実験室に放射線取扱従事者として登録する必要がある者は、別表3（P10）の「放射線取扱入門」を必ず受講すること。

2-2 CAP制について

本学部では、授業に対する修学時間を十分に確保し、授業内容を深く理解できるように、1学期ごとに履修登録することができる総単位数の上限を設けている。1学期毎に履修登録することができる総単位数の上限は、基盤共通教育科目と基盤専門教育科目を合わせて24単位である。ただし、以下の（1）に示す科目及び（2）に該当する者は、CAP制の対象外とする。

- (1) 「理系のキャリアデザインA」、「『6. 教職に関する科目』の修得についての第6表に示す科目」（P35）「博物館に関する科目」（P37）及び「介護等体験（含事前指導）」。
- (2) 前学期の修得単位数が14単位以上、かつ、GPAが3.0以上の者。

2-3 履修科目の取消方法について

授業科目の履修登録を取り消す場合は、定められた期間内に取り消しの手続きを行うこと。取消手続きを行わずに履修を放棄した場合は、その授業の成績評価は「不合格（F）」となるので注意すること。なお、病気や事故等のやむを得ない事情により履修取消ができなかった場合は、学生センター理学部学務担当に申し出ること。

3. 成績評価・単位認定について

- (1) 単位の認定は、試験・報告書・論文並びに平常の成績等による担当教員の審査に基づき、教授会が行う。
- (2) 各授業科目の成績は、評定記号（S・A・B・C・F）で表し、S・A・B・Cを合格、Fを不合格とし、配点基準は次のとおりとする。

S	100点	～	90点
A	89点	～	80点
B	79点	～	70点
C	69点	～	60点
F	59点	～	0点
- (3) 成績の評価は、学期末に行うものとする。
- (4) すでに評価を受けた成績の再評価は、原則行わない。
- (5) 成績評価に関して、疑義が生じた場合の問い合わせは、成績が発表された日から原則3日以内に、「成績評価照会票」（様式は山形大学ホームページの「学生生活」タブ内の「授業について」の該当リンクからダウンロードできます。）に必要事項を記入のうえ、学生センター理学部担当へ提出してください。詳細は、学生センター理学部担当にご相談ください。

VI 修学支援体制について

1. 成績評価制度について

合格した成績の評定をS、A、B、Cの4段階で行い、成績を平均化したGPA（Grade Point Average）を全学的に導入している。

- (1) 成績評価区分と付加されるGP（Grade Point）について 成績評価は、以下の表に定める区分により行われ、それぞれのGPが付加される。

評価点	成績区分と評価基準	付加されるGP
100～90点	S：到達目標を達成し、きわめて優秀な成績をおさめている。	4
89～80点	A：到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている。	3
79～70点	B：到達目標を達成している。	2
69～60点	C：到達目標を最低限達成している。	1
59～ 0点	F：到達目標を達成していない。	0
	N：単位認定科目であり、GPAの対象としない。	なし

- (2) GPAの計算について GPAは、高等学校の評定平均値のように、学修の成績を総合的に判断するための指標である。GPAは、GPA対象授業科目のうち、履修登録した科目（適用除外科目を除く。）についてそれぞれの単位数にGP（4、3、2、1、0のいずれか）をかけた総計（GPS）を履修登録した科目の総単位数で割ったものである。

(例) GPAの算出例

科目名	評定	単位数	GP	
力学 I	S	2単位	4	$2 \times 4 = 8$
電磁気学 I	A	2単位	3	$2 \times 3 = 6$
量子力学 I	F	2単位	0	$2 \times 0 = 0$
物理学実験 I	B	1単位	2	$1 \times 2 = 2$
合計		7単位		16点 (GPS)

$$\underline{GPA} = 16 \text{点} \div 7 \text{単位} \approx 2.28 \text{ (小数点第3位以下は切り捨てる。)}$$

(↑この単位数にはF：不合格科目の単位数も含む。)

- (3) GPAの適用除外科目について 単位の取得のみで評価を付さない次の科目については除外される。

- ① 合格か不合格かだけを判定する授業科目
- ② 編入学または転入学した際の単位認定科目
- ③ 本学入学前に修得した単位認定科目（学部規則第36条）
- ④ 他大学等との単位互換等で修得した科目（学部規則第35条）

- (4) 履修取り消し

一度履修登録した科目の取消手続を行う期間を設定する。定められた期間内に履修科目取り消しの手続きをせずに履修を放棄した場合は、その科目の成績評価は「不合格（F）」、GPは「0」となる。ただし、履修科目登録の取消期間以後、病気や事故等、やむを得ない事情が発生し、学生が履修科目の登録取消を希望する場合は、学生センター理学部学務担当に申し出ること。